



発行所 滋賀県行政書士会  
 発行人 小島俊明  
 編集人 山口秀子  
 大津市京町三丁目4-22(滋賀会館3階)  
 発行日(月刊)  
 平成17年4月10日

## 支部のあり方について

支部長会議議長 松村 弘  
 (湖南支部 支部長)

平成17年3月18日(金)平成16年度2回目の支部長会を開催した。議題は、主に支部運営のあり方についてで、フリートークの形で議論した。

本会の7支部の中には、会員数が20数名の所から100名を越える規模の所もあり、色々な問題点が浮かび上がってきた。まずは、組織運営であるが、高島支部のように20名程度の組織では、支部活動をするにも無理がある。行政書士専門の会員は数名で、他は兼業者で占めているので役員の人選についてもなかなか困難であり、今後他支部との合併も視野に入れた組織運営が求められているようである。次に、ある支部を除き支部活動が固定化しているということである。支部活動に参加される会員が大体決まっただけで、年に1回の支部総会に参加される会員も、支部活動に参加される会員と同じ顔ぶれになっている。支部としては、1人でも多くの方に活動に参加してもらおうと、色々なアイデアを出して運営しているが、それでも参加人数は増えない。行政書士会に入会している会員の組織構成を見ても、全体の約40%前後が何らかの兼業者(土業の兼務・不動産業・損保代理店)で占めているのがこの会の特長である事から考えれば、支部活動の参加人数を引き上げるのは無理であると思う所もある。少しでも活動に参加してもらうには、平日頃からの会員とのコミュニケーションが必要であると考えている。

そして、新入会員のフォローアップの問題である。意欲に燃えて支部に入会された会員に対して、仕事の方法などについて如何にアドバイスするか。現状では、本会の研修、支部研修等を受講してもらうのが関の山である。次に、価格破壊の問題や、かつては想定できなかった許認可手続などがインターネットを介したビジネスとして我々の業務に入り込んできている問題である。これに対抗する手段としては、グループ化による仕事の受注拡大、そして顧客の満足度が高いフォローアップ・サービスが求められている。以上のことを支部長会で話し合った。次年度の支部長会においては、これらの問題を深めていただきたい。

### ○ 大津支部 支部長 川井 光雄

支部長就任から早いもので、2年の任期が終了しました。当支部は本年度末で105名の会員数を有する県下最大の支部であります。

支部の運営は各々の役員に託すことで活動的な事業を運営することが出来たと思います。このことは、事業ごとに指名された役員が企画からその完了まで責任をもって役割を果たそうと奮闘してくれた結果であります。

「長たるもの動じず」のことわざのとおり、任せた結果に責任を負いたいと思います。

### ○ 甲賀支部 支部長 澤井 健二

現在、県事務所単位で設置されている支部はその事務所の統廃合、市町村合併等により大きな節目を迎えています。

甲賀支部は甲賀市(水口町、土山町、甲南町、甲賀町、信楽町の合併)、湖南市(甲西町、石部町の合併)の二市となりました。

会全体の中で支部の役割もまた変わってきています。支部会員それぞれが「個」において多くの情報を得られ、独自のネットワークを構築できる今、支部はその役割において、事業実施において、小単位の独りよがりではないのは事実です。

支部組織の改革及び活性化への統廃合等について理念構築の時が来ています。

### ○ 湖東支部 支部長 山添 稲子

湖東支部では、無料相談会を滋賀中央信用金庫八幡西支店で月1回、JAグリーン近江で2ヶ月に1回の割合で継続開催してまいりました。お陰様で信用金庫での相談会は近江八幡市からも公認され、相談者も徐々に増え、まさしく街の法律家として、地域社会のニーズに対してお役に立っているのではないかと自負しております。

また具体的な事案の相談者として、我々自身もプロの名に恥じないよう自ずと勉強せねばならず、両者にとって相乗効果となっているのではないかとと思うものです。

### ○ 彦根支部 支部長 杉本 聖順

早いもので、初めて支部長のご指名をいただいてから、4年も経ちました。その間私は、彦根支部を活気のある支部にと頑張ってきたつもりですが、少しは活気がでてきたのでしょうか?まだまだ先のような気がします。

彦根支部は会員も少なく、また、会員のほとんどが、他土業の兼業者であり、活気のある会の運営が非常に難しいと痛感致しました。そこで、できる限りすべての会員に共通することを定期的にやろうと決めました。それは、定期的に彦根市役所において、相続に絞った無料相談会を年6回実施することでした。初年度より総会で承認いただき実施し、その結果、新たに入会された税理士・社労士の兼務会員さんからも協力を得られるようになりました。その成果もあって、彦根市から毎月、相談会を開催してほしいと打診があるようになりました。来期は、新しい支部長のもと、この取り組みを確立して、活気のある元気な支部にして頂きたいと思っております。

最後になりましたが、私のような若輩者が支部長という大役をやらせて頂いたために、上記事業以外は、まともに活動できなかったことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

### ○ 湖北支部 支部長 平野富美雄

私は平成11年から湖北支部長という大役を任されて早いもので丸6年になりますが、何とかやってこれたのも諸先輩や支部の役員の方々のお蔭と感謝しております。しかし他の支部と比べると支部事業も活発とは言えません。本会から与えられた事業と僅かな支部事業をこなすだけで財政的にも精一杯なのが現状で、尚且つ私の脳みそもマンネリ状態です。おかげさまで当支部も若い人や官公庁の優秀なOBの方が入会されていますので、是非それらの方に支部役員になって頂き活躍して頂きたいと思っております。

### ○ 高島支部 支部長 横江 政雄

高島支部では、各会員の会に対する帰属意識が低く、総会の出席率もよくありません。そのため、単独では研修会等を開けない状態にあります。

行政書士で自分の道を開こうという新入会員があっても支部としてサポートする体制ができていません。

弱小支部としての活動には限界があり、意欲ある会員のためにも他支部との合併を望みます。